

輝け! -第3走者- 亀崎 晃輝さん (走り高跳び)

みらいアスリート

このコーナーでは、来年の茨城国体開催応援企画として、市内出身でさまざまなスポーツの分野で活躍する人にスポットをあて、紹介していきます。

「人との出会いで成長できた」



かめざき こうき
亀崎 晃輝さん
(県立伊奈高等学校3年)

中学3年生まではサッカーに打ち込んでいたが、高校進学と同時に走り高跳びに転向。高校1年のときに出場したU18日本選手権で2位に輝く。高校3年間で、インターハイや国体などさまざまな大会に出場し、好成績を残す。自己ベストは2018年春の県総体で跳んだ「2m10cm」。18歳。

輝 け!みらいアスリートの第3走者を務めるのは、走り高跳びの亀崎晃輝さんです。

亀崎さんは今年、福井県で開催された「福井しあわせ元気国体2018」に、茨城県代表として出場。3位に輝き、表彰台に立ちました。

中学3年生まではサッカーをやっていたという亀崎さん。走り高跳びを初めて経験したのは小学生のとき。出場した市の陸上競技会で優勝し、県大会でも優勝。中学3年生で出場したジュニアオリンピックでも、持ち前の身体能力の高さを発揮し、見事優勝。走り高跳びで結果を出すう

ちに「全国で戦いたい」との思いが強くなったと言います。高校進学を前に「サッカー」を続けるか「走り高跳び」に転向するか迷いましたが、伊奈高校陸上競技部の恩師・明珍先生に「一緒にやらないか」と誘われ、走り高跳びへの転向を決意。伊奈高校に入学し、本格的に競技をはじめました。すると、すぐに頭角を現し、高校1年生で出場したU18日本選手権で2位の快挙。その後インターハイや国体への出場も経験し、まさに全国レベルで競い合う選手に成長しました。亀崎さんは走り高跳びの魅力「身長が高くなくても、技

術や感覚を磨くことでそれをカバーできるところですね」と話します。競技を通じて学ぶものも多いといい、「どうしたら記録が出るようになるのか、試行錯誤を繰り返すんです。この考え方は、陸上以外のことにも活かせていると思います」。

国体の予選となる北関東大会は、1年生、2年生の時に優勝。3連覇のかかった今年も惜しくも2位でしたが、国体本大会での成績は、最良の3位。春には大学に進む亀崎さん。大学でも競技を続けるといいます。「新しい先生や仲間との出会いが楽しみです。全日本インカレで1位になるのが目標です」と笑顔。成年の部で出場の期待がかかる、来年の茨城国体に向けては「トレーニングに励み、出場できるように頑張りたいです」と意気込みを語ってくれました。



見事な跳躍としなやかなフォームでバーを飛び越える亀崎さん